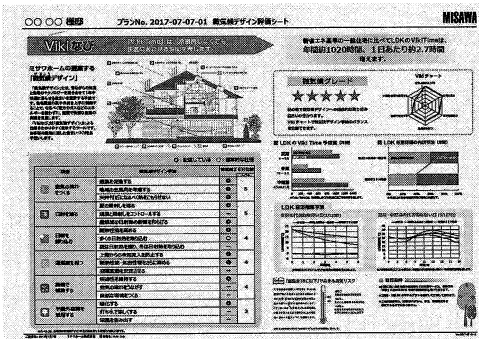


「Vikiナビ」を開発

微気候デザインを見える化

ミサワホーム



「微気候デザイン評価シート」イメージ
ある。例えば、ZEHの推進により断熱性能や省エネ・創エネ機器の性能が定量化された数値で示される一方、住まい手が感じる室内

微気候とは、住まいの周囲に限ったミクロの気候を意味する。微気候デザインは、伝統的な生活の知恵と現代の先進技術を融合させ、夏も冬も快適に過ごせる住まいづくりに、まちづくりのために開発した設計手法。夏季の日射熱を遮り、室内の熱を逃がす工夫などがこれに当たる。季節に応じて、住宅と周囲の気候をうまく制御することで快適な室内環境を形成する工夫は、快適性の向上に加えて省エネルギーにもつながる。ただ快適性についての評価は、数値によって表すことが難しいという課題もある。例えば、ZEHの推進により断熱性能や省エネ・創エネ機器の性能が定量化された数値で示される一方、住まい手が感じる室内

ミサワホーム(東京都、役員匡志社長)とミサワホーム総合研究所(同、内田和明社長)は、微気候デザインを見える化する「Vikiナビ」を開発した。微気候デザインは、自然の光や風を有効活用するための設計手法で、Vikiナビは建物の仕様や設備、開口部の位置などを入力するだけでその効果が分かるツールだ。

戸建て賃貸住宅を将来持ち家に

全国で「家賃が実る家」展開

リネンス

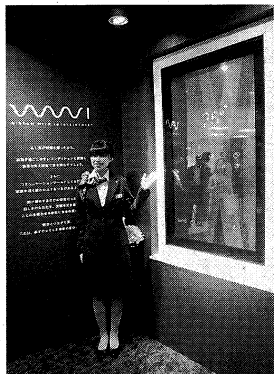
リネンス(秋田市、森居居はネット上で募集。希望エリア、間取りを入力し、入居審査が通ると、大家(土地オーナー)または個人投資家(家賃)を募集し、双方の条件がマッチした場合、加盟工務店が管理を行う。このビジネスモデルで同社は昨年、秋田県内に5棟を建設。アパート家賃程度の支払いで将来の譲渡予約付き

環境の快適さについては言及されていない。そこで同社は微気候デザインの要素を「空気の流れをつくる」や「日射を遮る」などの項目に分け、それらを実現するための手法を18項目に整理したVikiナビを開発。顧客が検討する建物の仕様や設備、通風・日射探り込みの程度、開口部の位置などを入力することで、微気候デザインの効果を見える化した。微気候デザインの総合的な取り組み度を表す「微気候グレード」、採用した手法のバランスを示す「Vikiナビチャート」(冷・暖房しなくても快適に過ごせる時間を表す指標「Viki Time」などで代表的な寒い日や暑い日の室温推移イメージを表示できるようにした。これにより、総合的な微気候デザイン効果を向上させるための、最適な手法の組み合わせを検討できるようになった。

「窓」が家族の様子を記録したり、遠くに住む人と顔を見ながらチャットしたり。YKK AP(東京都、堀秀充社長)が新プロジェクトで公開している「窓」プロジェクトの成果品で、「窓が情報を持った」窓を想定し、窓に多彩な機能を付けた。同窓は、5mmの強化ガラスの間に、16mmの透明有機ELを挟み、有機ELを高性能樹脂製の「APW430」に組み込んだ。窓のサイズは厚み41、縦159、横1062mm。AIスピーカーと連携し、音声指示により窓を開閉できる。さらにはビデオチャット機能(http://window-intelligence.jp/)も開設している。

YKK AP 「情報を持つ窓」が誕生

未来はすぐそこ！



情報を表示するほか、呼びかけは窓を自動開閉できる

「窓」が家族の様子を記録したり、遠くに住む人と顔を見ながらチャットしたり。YKK AP(東京都、堀秀充社長)が新プロジェクトで公開している「窓」プロジェクトの成果品で、「窓が情報を持った」窓を想定し、窓に多彩な機能を付けた。同窓は、5mmの強化ガラスの間に、16mmの透明有機ELを挟み、有機ELを高性能樹脂製の「APW430」に組み込んだ。窓のサイズは厚み41、縦159、横1062mm。AIスピーカーと連携し、音声指示により窓を開閉できる。さらにはビデオチャット機能(http://window-intelligence.jp/)も開設している。

有機ELを高性能樹脂製の「APW430」に組み込んだ。窓のサイズは厚み41、縦159、横1062mm。AIスピーカーと連携し、音声指示により窓を開閉できる。さらにはビデオチャット機能(http://window-intelligence.jp/)も開設している。

「窓」に意識を向け、窓の優先順位を上げる(同社)ことを目的に始まった。実際は、新プロジェクトで見ることができ、特設サイト(http://window-intelligence.jp/)も開設している。

賃貸住宅でもZEH推進

全住戸で基準クリア

積水ハウス

積水ハウス(大阪市、阿部俊則社長)は石川県金沢市に、全国初となる全住戸ZEHの3階建て賃貸住宅「ZEH21」(重量鉄骨造)を建設する。ZEHは戸建て住宅を中心に推進してきたが、分譲マンションに続き賃貸住宅でも展開していく。

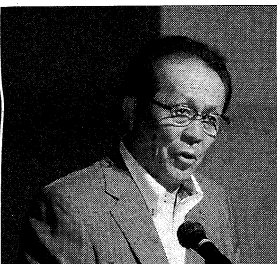
集合住宅は住戸数に目標には入っていない。D証明などの省エネ設備を採用。エネルギー消費量を最大限に削減し、各住戸に必要な太陽光パネルを平均2.4kWに抑制することによって、日射量が少ない金沢でも全住戸でZEH

対して屋根面積が小さく、1戸当たりの太陽光パネル設置面積が不足する。そのためZEH基準を満たすことが難しく、集合住宅のZEH化はまだ国の普及

現場の安全衛生を強化

監理や安全衛生教育徹底

新和建設



社長)は7月21日、北名古屋市文化勤労会館で「夏期安全衛生大会」を開き、協力業者ら多数が出席した。今年度は労働災害の防止に向け、建築現場「木美の杜」の開

現場の監理や安全衛生教育の徹底などに力を入れていく。冒頭あいさつで藤井社長は同社の概況を説明し、8月の一言展示場「木美の杜」の開

今後の方針を説明する藤井社長は「安全管理体制などを紹介。住宅業界は



国産材を利用したウッドデッキなどを設置

リポーンアートフェスティバル2017に協賛
住友林業(東京都、市川晃社長)は、宮城県石巻市を中心に9月10日まで開かれているアート・音楽・食の総合祭「リポーンアートフェスティバル」に協賛する。住友林業は、被災地復興をサポートするため「循環」をテーマに石巻市と牡鹿半島で開く総合祭。国内外の芸術、音楽などのアーティストが地元の人々と、石巻・牡鹿半島の歴史や文化、豊かな自然を舞台に作り上げていく。

フェスティバル2017に協賛している。さまざまなアート作品が展示され、牡鹿半島と石巻を結ぶ拠点となる「牡鹿ビレッジ」の一部整備を担当する。同フェスティバル

同フェスティバル

期間中、専用の循環バスがアート作品展示のメイン会場となる石巻・秋浜、鮎川を結び、牡鹿ビレッジには秋浜エリアの中心地となる停留場が設置される。牡鹿ビレッジはイベント全体設計・監修を行うフジワラボのデザインを基に、床板部分に国産材を利用したウッドデッキや住友林業グループが東松島市の農業法人と生産している塩害に強いオリシナ

23日に
静岡で木造耐火セミナー
日本木造耐火建築協会は、23日午後1時から静岡音楽館AOIで「木造耐火セミナー」を開催する。木造耐火建築協会の代表者は「静岡の木造耐火の新たな取り組み(滝浪龍司静岡木材業協同組合理事長)、「木造耐火と石膏ボードの役割(鳥崎潤悦取締役)、「地域材活用のための新技術(安達広幸常務)」。詳細は木耐建(電話03-6809-4500)まで。